

恐れるな

～心の時代の福音～

2022/12/11

アドヴェント第3週

負のエネルギーとしての「恐れ」

- 「希望」は生きていくための正のエネルギー
 - 特に困難に耐える力を与える
- 「恐れ(恐怖)」は身を守るために必要な感情
 - 危ない物・生き物、熱さ・寒さ、速度…
- 行き過ぎた(歪んだ)恐れ(恐怖症)
 - 対人恐怖・社会恐怖(不安)・醜形恐怖
- 「局限性恐怖症」
 - 広場・高所・閉所・暗所・会食・先端・動物・男性・女性・注射・雷・渡橋・13・4・幽霊・乗り物…

負のエネルギーとしての「恐れ」

- 「希望」は生きていくための正のエネルギー
 - 特に困難に耐える力を与える
- 「恐れ(恐怖)」は身を守る
 - 危ない物・生き物、熱さ・寒さ、
- 行き過ぎた(歪んだ)恐れ(恐怖症)
 - 対人恐怖・社会恐怖(不安)・醜形恐怖
- 「局限性恐怖症」
 - 広場・高所・閉所・暗所・会食・先端・動物・男性・女性・注射・雷・渡橋・13・4・幽霊・乗り物…

誰もが抱えている恐れ

- 死に対する恐怖
- 病気になることへの恐れ
- 失敗への恐れ
- 貧しくなることへの恐れ
- 嫌われることへの恐れ
- 拒絶されることへの恐れ
- リスクを負うことへの恐れ
- コロナに対する恐れ
- 戦争や核兵器に対する恐れ

未来（未知）に対する
否定的な感情

クリスマスに抱いた恐れ(ヨセフ)

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、**恐れず**マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。」

(マタイ1:19～20)

ヨセフの恐れと解決

- マリアを訴えなかった「正しい人」ヨセフ
 - マリアがお腹の子の父親と結婚することを許した
- マリアと結婚するよう御使いに告げられた
 - 「マリアの胎の子は聖霊によって宿った」
- ヨセフの抱いた恐れ
 - 自分の子どもではない子どもをみごもった女性（許嫁とはいえ）と結婚するという恐れ
 - 神から与えられた子どもの父親になるという恐れ
- 御告を信じ、マリアを迎えた
 - 「ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ…」1:24

クリスマスに抱いた恐れ(マリア)

天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、**恐れることはない**。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」（ルカ1:28～33）

マリアの恐れと解決

- まだ結婚もしていないのに妊娠したと言われた
 - とても信じられない驚くべきお告げ！
- マリアの抱いた恐れ
 - ヨセフや家族に何と説明すれば良いのか
 - メシアを身ごもり出産しなければならない
- 特別に与えられた助け
 - 子どもは諦めていたのに与えられたエリサベト
 - 婚約者ヨセフ
- 幸せな未来を信じメシアの母となる決意をした
 - 「今から後、いつの世の人も／わたしを幸いな者と言うでしょう」ルカ1:48

クリスマスに抱いた恐れ(ヘロデ王)

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は**不安を抱いた**。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。

(マタイ2:1～4)

ヘロデの恐れと失敗

- ローマ帝国の支配下にあいながら、ユダヤ人の王として君臨していたヘロデ
 - ヘロデは偉大な人物だったが、反対者らをことごとく殺し、身内さえも容赦しなかった
- 自分の地位を脅かす子どもが生まれたと聞き、恐れた
 - 東方の学者たちがわざわざ拝みに来た！
- 自分の身を守るために赤子を虐殺した
 - 「ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。」ルカ2:16

恐れに気づく

- 神は私たち人間が恐れる生き物であり、恐れに弱いことを知っておられる
 - 「恐れ」は身を守るために必要不可欠な感情
- 不要な・行き過ぎた恐れは心を歪めてしまう
 - 行動を支配してしまう
 - 日常生活に支障が出る場合は治療が必要
- 自らの恐れに気づく
 - 気づいていない恐れがある
 - 考えたくないこと・考えるだけで不安になること・意図的に避けていること…

恐れに勝つ

- 恐れに勝つとは未来に勝つことである
 - 未来(未知)に対する否定的な感情
- 未来を支配しておられる主を信頼する
 - 「わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」エレミヤ29:11
- ヨセフやマリアのように
 - 御告げ(御言葉)を信じて行動した
 - 主が備えておられる幸いを信じ、感謝した

天使は言った。「**恐れるな**。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。」

ルカ福音書2章10～11節